

教職課程センター学生相談受付及び利用状況（2020年4月～12月）

表1はセンター教員が対応した学生相談について相談内容別に整理したものであり、表2は学年別に整理したものである。

表1 相談内容別学生相談受付

相 談 内 容	件数
面接指導	91
教員採用試験に関する情報提供	89
論文指導	72
教員採用試験受験に関する相談 (学習方法、個人プロフィール、自己アピール等)	54
教員採用試験の合格報告・進路報告	26
進路相談	23
模擬授業に関する相談	17
書類添削(エントリーシート、自己PRシート、履歴書、願書等)	14
教員採用試験の受験報告	12
授業に関する相談	10
卒業論文に関する相談	3
場面指導に関する相談	1
合 計	412

表2 学年別学生相談受付

年 次	件数
1年次	0
2年次	1
3年次	10
4年次	259
科目等履修生	18
複数の学生に対して	124
合 計	412

今年度の相談傾向としては、ネットによる相談手段の気安さと便利さから例年よりも多くの人数が相談したものと考えられる。よかった点は、学生も教員も時間と場所に左右されず相談と評価ができたことである。例えば、模擬授業をビデオで撮ってそれを観察することもでき、zoom等を用いてリアルタイムで相談を受けることができた。また、入退室マナーや面接指導に関しては模擬面接をオンデマンドで配信したことから、学生は何度も練習ができ、教員は一度の作業で済ませることができた。反面、土曜日曜構わず相談が入ることによる多忙化、および各教員による個別対応のため教員間の横の連絡や情報の交換が不十分だった点が課題である。

学年別にみると例年のことではあるが、圧倒的に4年次生の相談が多くなっている。これは相談内容との関連でも明らかなように、「教員採用試験対策」のための相談が多数を占めているからである。しかし今後は学生が自らの生き方、キャリア形成として「教師」という職業を深く探求するために、教職科目受講前の1年次後半から3年次生までの相談・指導活動も拡充していく必要があるだろう。

表3は、目的別、キャンパス別の教職課程センターの利用状況を示している。今後もコロナ禍によりセンターを直接利用することが難しい状況が続く可能性があるとする、学生のニーズに柔軟に答えられるシステムづくりが課題である。

表3 教職課程センター利用状況

		利用目的 (件数)								来室 人数
		資料 閲覧	資料 コピー	質問	面談 申込	各種 申込	自習 利用	貸出	その他	
京田辺キャンパス	4月	9	7	1	0	0	0	0	0	9
	5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6月	0	8	0	0	0	0	0	0	8
	7月	12	0	0	0	0	0	0	2	11
	8月	0	11	2	0	0	0	0	0	11
	9月	2	1	1	0	0	0	0	12	14
	10月	20	7	1	0	0	0	0	21	43
	11月	24	10	3	3	10	0	0	9	52
	12月	22	5	0	1	2	0	0	21	45
	合計	89	49	8	4	12	0	0	65	193
今出川キャンパス	4月	6	6	0	0	0	2	0	0	6
	5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6月	9	9	1	1	0	0	0	0	9
	7月	8	8	3	1	0	0	0	3	11
	8月	16	15	0	0	0	0	0	1	17
	9月	29	17	0	0	8	0	0	21	46
	10月	13	7	3	2	11	0	0	9	45
	11月	7	21	3	0	0	0	0	10	41
	12月	14	14	3	1	0	0	0	10	42
	合計	102	97	13	5	19	2	0	54	217
総計		191	146	21	9	31	2	0	119	410

4月9日～5月31日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事務室閉室